

別売_事前工程ユニット

LTOP-PU

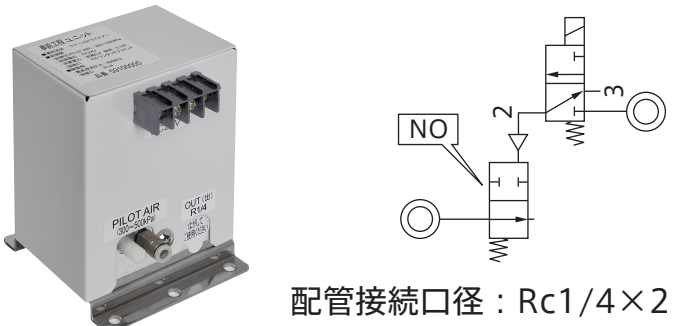
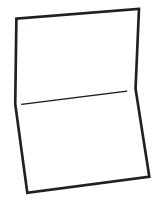


事前工程 ON の場合に、マスターとワークをパージするためのユニットです。

事前工程ユニット 設置説明書 型式 / LTOP-PU

本ユニットは、電空レギュレーターを使用せずに事前工程を行う場合にご使用ください。

同梱部品

事前工程ユニット	 <p>配管接続口径：Rc1/4×2</p>	設置説明書（本書） 
----------	--	--

現地調達部品

配管用部材：ナイロンチューブ・インサート管継手
信号線接続用部材：0.3SQ以上のケーブルを推奨します

用途について

リークテストの「事前工程」で、マスター内と、ワーク内それぞれの空気を入れ替えて、両者の温度差による測定への影響を除去します。

使いかた

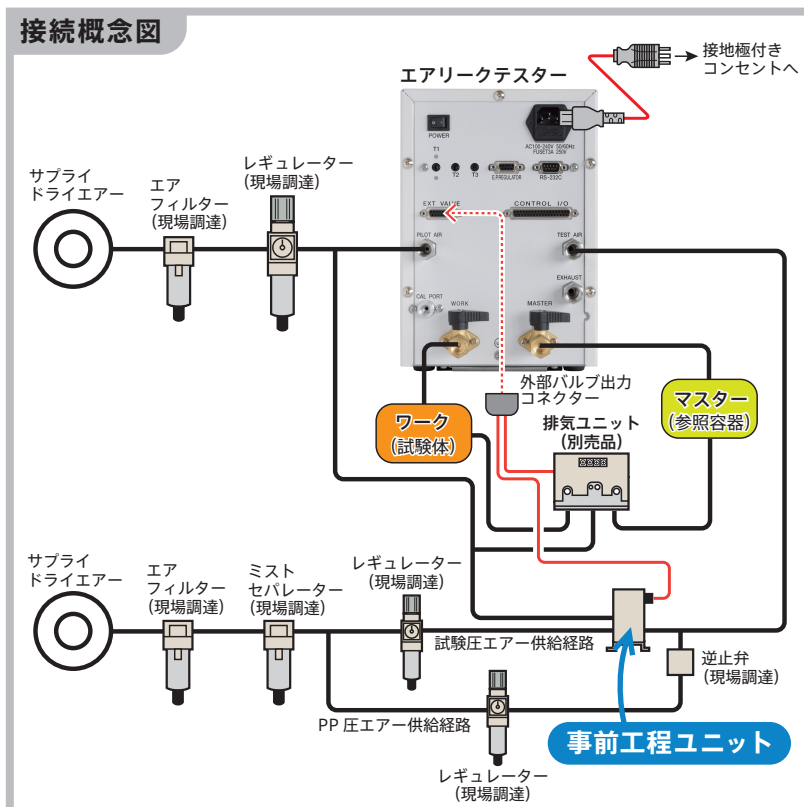
エアリークテスターの取扱説明書を必ず参照してください。

【配管接続】

- ① IN と OUT のシールを剥がし、それぞれの配管接続口に配管を接続してください。
- ② PILOT に、φ4 チューブで配管接続します。パイロット供給圧力は、300～500kPa です。

⚠ 注意

- ・ 配管内にゴミなどが入らないよう注意してください。
- ・ 接続はしっかりと行ってください。接続がゆるいと、加圧の際に部品が飛散して、けがや故障の原因となります。



裏面に続きます。

5910535000
KGL11-1007(00)
2021-03 ©



【信号線の接続】

- ① 端子台に外付けバルブ制御信号（端子 **3**・**4**）から配線をします。
- ② 端子 **3** を+側に接続し、端子 **4** を-側に、それぞれ接続してください。
（本体側の出力端子の **1** DC+24V を **2** COM1+、**13** COM- を **15** GND にそれぞれ接続してください）

外部バルブ制御信号出力端子の結線図

